

ちばの里山 LIFE 体験交流事業実施報告書 (3)

主催：千葉県 企画運営：NPO 法人ちば里山センター

協力：早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス

題名	ちばの里山体験モニターツアー（宿泊）
日時	平成 28 年 9 月 24 日（土）25 日（日）
会場	9 月 24 日 袖ヶ浦市ちば里山センター、市原市おとずれ山の会フィールド、鴨川市大山千枚田、 9 月 25 日 長南町（一社）もりびとフィールド、東金市千葉県木材市場協同組合
出席者	受講生 27 名 講師 5 名（おとずれ山の会 1 名 大山千枚田 1 名、もりびと 2 名、千葉県木材市場 1 名）、 スタッフ 8 名（ちば里山センター 3 名、ジャックの森 3 名、もりびと 2 名）森林課 1 名
内容	<p>9 月 24 日 <東京駅集合></p> <p>8:00 東京駅集合 バスで現地へ</p> <p>9:15~9:30 ちば里山センターにてトイレ休憩、作業準備</p> <p>10:00~12:00 里山体験（市原市 おとずれ山の会フィールド「ジャックの森」） （バス移動）</p> <p>12:20~13:30 ちば里山センターにて昼食 （バス移動）</p> <p>15:00~16:00 大山千枚田見学 （バス移動）</p> <p>17:00 内浦山県民の森到着</p> <p>19:30~21:00 交流会（講演他）</p> <p>9 月 25 日</p> <p>8:30 内浦山県民の森出発、もりびとへ移動（バス移動）</p> <p>10:30~12:00 もりびとの活動現地見学</p> <p>12:00~13:00 昼食</p> <p>14:00~15:00 千葉県木材市場見学 （バス移動）</p> <p>16:00 千葉駅にて解散 （バス移動）</p> <p>18:00 東京駅解散</p>
報告	<p>【東京駅集合】</p> <p>9 月 24 日 東京駅に集合した受講生 27 名は東京駅からアクアラインを通り、ちば里山センターでの休憩を経て、ジャックの森に到着した。「おとずれ山の会」メンバーが待ち受ける中、竹伐採の実演を見学し、一班 3~4 名の 8 グループに分かれ伐採に取り掛かった。ノコギリ初体験の受講生は、ノコギリの先端が下がり気味との注意を受けながらも、一人一本の竹伐採を体験した。竹の重みでノコギリが動かなくなる経験を積み、自分の力で竹一本を伐採した達成感と満足感を口にする受講生もいた。伐竹後は「おとずれ山の会」からイチジクのコンポートと冷たいお茶のおもてなしを受け、ジャックの森を後にした。ちば里山センターまでバス移動した。</p>

昼食後、伊藤理事に先導され、昭和 45 年に京葉臨海埋立地の緑化試験地として造成した緑化推進拠点の構内を見学した。緑化の推進、森林整備雄、里山活動の拠点として緑化関係者、里山団体などの支援を行っているとの説明を受けた。

午後の部は大山千枚田まで移動し、大山千枚田保存会の浅田事務局長から、保存会の活動の概要のお話をいただいた。棚田 375 枚のうち 136 枚をオーナー制度で一般募集し、年に 7 回程度の耕作作業と収穫できる仕組みと、それを補完する棚田トラスト制度、酒造りオーナー制度、大豆畑トラスト制度の説明を受けた。獣害の様子が語られる中、イノシシやキョンの骨格見本が回覧されると、受講生の中には携帯カメラで撮影し、満足げな様子も見られた。

急傾斜地に広がる千枚田はヒガンバナの最盛期と重なり、ヒガンバナの赤と棚田のグリーン、稲穂の黄金色と鮮やかな風景が広がっていた。

内浦山県民の森に移動し、夕食後、「一般社団法人もりびと」の千葉美賀子理事、井上源太郎広報担当から林業ビジネスの可能性についての講義を受けた。

「里山の持つ、本来あるべき姿を持つ里山はすでにない。若い世代は昔の里山の姿を追うのではなく、これからの里山を作ってほしい」と千葉理事は深刻な現状を冒頭に説明した。受講生の色んな表情が浮かび上がった。次に、「もりびと」でツリークライミングを活用した危険木の除去、間伐材を使った炭焼き、そこから得られる竹炭うどん、イノシシ脂入り石鹸、針葉樹の伐採木はログハウスに転用するなど、ビジネスモデルを紹介した。広葉樹の間伐材から Y 字材を使ってスポーツパチンコをネットによる販売を開始し、森のスポーツパチンコ大会の様も案内した。

林業の可能性を「面白いビジネスが隠れているはず」と「地元にあるモノに活性化に結びつくヒントがある」と結んだ。

9 月 25 日 「もりびと」フィールドで直径 30 cm 超、樹高 10m 超のスダジイの伐倒を見学した。ロープでけん引、伐倒の方向を決め、チェーンソーが入った。ズシーンと音を立てて倒れると拍手が沸き起こった。その後、梅林として利用されている様子や未整備の耕作地跡など、7 ha の山林を見学した。

熊野コミュニティーセンターで昼食を摂った後、千葉県木材市場に移動した。セリにかけられた材木の置き場を小安部長に案内していただいた。スギ、ヒノキ、サワラの針葉樹、イチョウ、クスノキ、ケヤキなどの広葉樹の材としての特徴が合わせて説明されると、鼻を近づけ香りを楽しんだり、木肌に触れてみたり、木の感触を楽しんでいた。

木材の販売用建物は木材で建てたものとして最大級（36m×82m）で、材木から建築用に加工された木材の販売スペースとして使われている。木目の出方など加工の具合によって異なり、木材の価値が決まるとの説明に関心を示していた。

木材市場の同敷地内に立てられた「木と住の情報館モクイチ」は木造住宅の情報館で、在来工法を中心とした身近で住みよい住まいづくりの窓口として一般に公開されている。ここでは天井部材の違いや階段の高さを体験し、継手・仕口の見本展示など手から伝わる記の感触に木材住宅への興味は尽きないようだった

木材市場見学後、バス移動し千葉駅で解散し、東京方面の受講生は東京駅までバス移動した。

添付資料（写真）

◆ ジャックの森（おとずれ山の会）



おとずれ山の会高橋代表



伐倒の見本



受け口を入れる



追い口を入れる



伐倒木がかかり木に



小口切りした材を運搬



作業後の集合写真

◆ 緑化推進拠点施設



緑化推進拠点施設の見学

◆ 大山千枚田



大山千枚田



浅田事務局長の説明



イノシシの骨格標本



キョン骨格標本



ヒバカリを観察



千枚田をバックに集合

◆ 内浦山県民の森



もりびと千葉理事の講義



千葉理事と井上広報担当



内浦山県民の森玄関に集合

◆ もりびとのフィールド



もりびと江澤代表理事



伐倒見学



伐倒木の玉切り

◆ 千葉県木材市場



セリに掛かった木材



小安部長の説明を受ける



「モクイチ」で木の質感を感じる